

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 16 年 7 月 8 日 (2004.7.8)

【公開番号】特開 2001-55000 (P2001-55000A)

【公開日】平成 13 年 2 月 27 日 (2001.2.27)

【出願番号】特願 2000-118003 (P2000-118003)

【国際特許分類 第 7 版】

B 4 4 F 1/06

B 4 1 M 1/12

B 4 1 M 3/06

G 0 2 B 3/00

【 F I 】

B 4 4 F 1/06

B 4 1 M 1/12

B 4 1 M 3/06 C

G 0 2 B 3/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 6 月 9 日 (2003.6.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

同一形状・同一大きさの平凸レンズ状集光素を多数縦横に整列させて形成してなる平凸レンズ状集光素層と該平凸レンズ状集光素層の下に積層された透明基板層と該透明基板層の下に積層された同一形状・同一大きさの画素を多数縦横に整列させて形成してなる画素層とからなり、前記平凸レンズ状集光素層の平凸レンズ状集光素が 10 線数 70 を満足する紗体を形成する紗線によってできた升目を単位として形成されており、前記画素層の画素が前記紗体の線数未満の近い線数からなる紗体を形成する紗線によってできる升目を単位として該升目のピッチと同一ピッチで形成されており、前記画素の形状と同一形状の拡大された虚像が前記平凸レンズ状集光素層の上方に現出することを特徴とする虚像現出装飾体。

【請求項 2】

同一形状・同一大きさの平凸レンズ状集光素を多数縦横に整列させて形成してなる平凸レンズ状集光素層と該平凸レンズ状集光素層の下に積層された透明基板層と該透明基板層の下に積層された同一形状・同一大きさの画素を多数縦横に整列させて形成してなる画素層とからなり、前記各平凸レンズ状集光素と前記各画素とは少なくとも一組が上下において完全に重なっていると共に該重なっている画素と等距離にある他の画素が該他の画素と対応する平凸レンズ状集光素に対して当該重なっている画素を中心として放射状に外側へ向かって同じ幅でずれていて、かつ、当該中心となる画素より外側の画素ほどずれる幅が大きくなるように前記平凸レンズ状集光素層と前記画素層とが配置されており、前記画素の形状と同一形状の拡大された虚像が前記重なっている画素を中心として前記平凸レンズ状集光素層の上方に現出することを特徴とする虚像現出装飾体。

【請求項 3】

平凸レンズ状集光素層はスクリーン印刷により 10 線数 70 を満足する紗体を形成する紗線によってできた升目を単位として透明基板の一方の面に平凸レンズ状集光素が印刷

されてなり、画素層は前記紗体の線数未満の近い線数からなる紗体を形成する紗線によってできる升目を単位として該升目のピッチと同一ピッチで透明基板の他方の面に画素が形成されてなる請求項 2 記載の虚像現出装飾体。

【請求項 4】

平凸レンズ状集光素層はスクリーン印刷により 10 線数 70 を満足する紗体を形成する紗線によってできた升目を単位として透明基板の一方の面に平凸レンズ状集光素が印刷されてなり、画素層は前記紗体の線数未満の近い線数からなる紗体を形成する紗線によってできる升目を単位として該升目のピッチと同一ピッチで透明フィルムに画素が形成されてなる請求項 2 記載の虚像現出装飾体。

【請求項 5】

画素層の下に更に同一形状・同一大きさの画素を多数縦横に整列させて形成してなる他の画素層が少なくとも一層積層されていると共に、当該他の画素層の各画素と各平凸レンズ状集光素とは少なくとも一組が上下において完全に重なっていると共に該重なっている画素と等距離にある他の画素が該他の画素と対応する平凸レンズ状集光素に対して当該重なっている画素を中心として放射状に外側へ向かって同じ幅でずれていて、かつ、当該中心となる画素より外側の画素ほどずれる幅が大きくなるように平凸レンズ状集光素層と他の画素層とが配置されてなり、各画素層に形成された画素の平凸レンズ状集光素に対するずれる幅が該各画素層において異なっており、各画素層の画素の形状と同一形状の拡大された各虚像が異なる高さ位置に現出する請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載の虚像現出装飾体。

【請求項 6】

画素層の下に更に同一形状・同一大きさの画素を多数縦横に整列させて形成してなる他の画素層が少なくとも一層積層されていると共に、当該他の画素層の各画素と各平凸レンズ状集光素とは少なくとも一組が上下において完全に重なっていると共に該重なっている画素と等距離にある他の画素が該他の画素と対応する平凸レンズ状集光素に対して当該重なっている画素を中心として放射状に内側へ向かって同じ幅でずれていて、かつ、当該中心となる画素より外側の画素ほどずれる幅が大きくなるように平凸レンズ状集光素層と他の画素層とが配置されてなり、他の画素層が二層以上積層されている場合には各他の画素層に形成された画素の平凸レンズ状集光素に対するずれる幅が該各他の画素層において異なっており、他の画素層の画素の形状と同一形状の拡大された虚像が前記重なっている画素を中心として他の画素層の下方に現出する請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載の虚像現出装飾体。

【請求項 7】

一画素層における画素が形状を異にする複数種類からなり、各画素を同一パターンで多数縦横に整列させて該各画素の形状と同一形状の拡大された虚像が重なった状態で現出する請求項 1 乃至 6 のいずれかに記載の虚像現出装飾体。

【請求項 8】

同一形状・同一大きさの平凸レンズ状集光素を多数縦横に整列させて形成してなる平凸レンズ状集光素層と該平凸レンズ状集光素層の下に積層された透明基板層と該透明基板層の下に積層された同一形状・同一大きさの画素を多数縦横に整列させて形成してなる画素層とからなり、前記平凸レンズ状集光素層の平凸レンズ状集光素が 10 線数 70 を満足する紗体を形成する紗線によってできた升目を単位として形成されており、前記画素層の画素が前記紗体の線数を越える近い線数からなる紗体を形成する紗線によってできる升目を単位として該升目のピッチと同一ピッチで形成されており、前記画素の形状と同一形状の拡大された虚像が前記画素層の下方に現出することを特徴とする虚像現出装飾体。

【請求項 9】

同一形状・同一大きさの平凸レンズ状集光素を多数縦横に整列させて形成してなる平凸レンズ状集光素層と該平凸レンズ状集光素層の下に積層された透明基板層と該透明基板層の下に積層された同一形状・同一大きさの画素を多数縦横に整列させて形成してなる画素層とからなり、前記各平凸レンズ状集光素と前記各画素とは少なくとも一組が上下において

完全に重なっていると共に該重なっている画素と等距離にある他の画素が該他の画素と対応する平凸レンズ状集光素に対して当該重なっている画素を中心として放射状に内側へ向かって同じ幅でずれていて、かつ、当該中心となる画素より外側の画素ほどずれる幅が大きくなるように前記平凸レンズ状集光素層と前記画素層とが配置されており、前記画素の形状と同一形状の拡大された虚像が前記重なっている画素を中心として前記画素層の下方に現出することを特徴とする虚像現出装飾体。

【請求項 10】

平凸レンズ状集光素層はスクリーン印刷により 10 線数 70 を満足する紗体を形成する紗線によってできた升目を単位として透明基板の一方の面に平凸レンズ状集光素が印刷されてなり、画素層は前記紗体の線数を越える近い線数からなる紗体を形成する紗線によってできる升目を単位として該升目のピッチと同一ピッチで透明基板の他方の面に画素が形成されてなる請求項 9 記載の虚像現出装飾体。

【請求項 11】

平凸レンズ状集光素層はスクリーン印刷により 10 線数 70 を満足する紗体を形成する紗線によってできた升目を単位として透明基板の一方の面に平凸レンズ状集光素が印刷されてなり、画素層は前記紗体の線数を越える近い線数からなる紗体を形成する紗線によってできる升目を単位として該升目のピッチと同一ピッチで透明フィルムに画素が形成されてなる請求項 9 記載の虚像現出装飾体。

【請求項 12】

画素層の下に更に同一形状・同一大きさの画素を多数縦横に整列させて形成してなる他の画素層が少なくとも一層積層されていると共に、当該他の画素層の各画素と各平凸レンズ状集光素とは少なくとも一組が上下において完全に重なっていると共に該重なっている画素と等距離にある他の画素が該他の画素と対応する平凸レンズ状集光素に対して当該重なっている画素を中心として放射状に内側へ向かって同じ幅でずれていて、かつ、当該中心となる画素より外側の画素ほどずれる幅が大きくなるように平凸レンズ状集光素層と他の画素層とが配置されてなり、各画素層に形成された画素の平凸レンズ状集光素に対するずれる幅が該各画素層において異なっており、各画素層の画素の形状と同一形状の拡大された各虚像が異なる深さ位置に現出する請求項 8 乃至 11 のいずれかに記載の虚像現出装飾体。

【請求項 13】

画素層の下に更に同一形状・同一大きさの画素を多数縦横に整列させて形成してなる他の画素層が少なくとも一層積層されていると共に、当該他の画素層の各画素と各平凸レンズ状集光素とは少なくとも一組が上下において完全に重なっていると共に該重なっている画素と等距離にある他の画素が該他の画素と対応する平凸レンズ状集光素に対して当該重なっている画素を中心として放射状に外側へ向かって同じ幅でずれていて、かつ、当該中心となる画素より外側の画素ほどずれる幅が大きくなるように平凸レンズ状集光素層と他の画素層とが配置されてなり、他の画素層が二層以上積層されている場合には各他の画素層に形成された画素の平凸レンズ状集光素に対するずれる幅が該各他の画素層において異なっており、他の画素層の画素の形状と同一形状の拡大された虚像が前記重なっている画素を中心として平凸レンズ状集光素層の上方に現出する請求項 8 乃至 11 のいずれかに記載の虚像現出装飾体。

【請求項 14】

一画素層における画素が形状を異にする複数種類からなり、各画素を同一パターンで多数縦横に整列させて該各画素の形状と同一形状の拡大された虚像が重なった状態で現出する請求項 8 乃至 13 のいずれかに記載の虚像現出装飾体。

【請求項 15】

同一形状・同一大きさの平凸レンズ状集光素を多数縦横に整列させて形成してなる平凸レンズ状集光素層と該平凸レンズ状集光素層の下に積層された透明基板層と該透明基板層の下に積層された同一形状・同一大きさの画素を該画素の列が順に同じ傾斜角を累積する傾斜パターンにて同一方向に並んで傾斜するように多数縦横に整列させて形成してなる画素

層とからなり、前記各平凸レンズ状集光素と前記各画素とは少なくとも一組が上下において完全に重なっていると共に該重なっている平凸レンズ状集光素を中心とする対角線上の等距離にある他の平凸レンズ状集光素に対応する位置にある他の画素が該他の平凸レンズ状集光素に対して当該重なっている平凸レンズ状集光素を中心として点対称位置に横ずれして放射状に外側へ向かってずれていて、かつ、重なっている画素より外側の他の画素ほどずれる幅が大きくなるように前記平凸レンズ状集光素層と前記画素層とが配置されており、変形して拡大された画素の虚像が前記重なっている画素を中心として前記平凸レンズ状集光素層の上方に現出することを特徴とする虚像現出装飾体。

【請求項 16】

平凸レンズ状集光素層はスクリーン印刷により 10 線数 70 を満足する紗体を形成する紗線によってできた升目を単位として透明基板の一方の面に平凸レンズ状集光素が印刷されてなり、画素層は平凸レンズ状集光素層の平凸レンズ状集光素の列と平行な画素の列を基準として  $0.001^\circ$  傾斜角  $1^\circ$  を満足する傾斜パターンで透明基板の他方の面に画素が形成されてなる請求項 15 記載の虚像現出装飾体。

【請求項 17】

平凸レンズ状集光素層はスクリーン印刷により 10 線数 70 を満足する紗体を形成する紗線によってできた升目を単位として透明基板の一方の面に平凸レンズ状集光素が印刷されてなり、画素層は平凸レンズ状集光素層の平凸レンズ状集光素の列と平行な画素の列を基準として  $0.001^\circ$  傾斜角  $1^\circ$  を満足する傾斜パターンで透明フィルムに画素が形成されてなる請求項 15 記載の虚像現出装飾体。

【請求項 18】

画素層における画素が形状を異にする複数種類からなり、各画素を同一パターンで多数縦横に整列させて変形して拡大された各画素の虚像が重なった状態で現出する請求項 15 乃至 17 のいずれかに記載の虚像現出装飾体。

【請求項 19】

同一形状・同一大きさの平凸レンズ状集光素を多数縦横に整列させて形成してなる平凸レンズ状集光素層と該平凸レンズ状集光素層の下に積層された透明基板層と該透明基板層の下に積層された同一形状・同一大きさの画素を該画素の列が順に同じ傾斜角を累積する傾斜パターンにて同一方向に並んで傾斜するように多数縦横に整列させて形成してなる画素層とからなり、前記各平凸レンズ状集光素と前記各画素とは少なくとも一組が上下において完全に重なっていると共に該重なっている平凸レンズ状集光素を中心とする対角線上の等距離にある他の平凸レンズ状集光素に対応する位置にある他の画素が該他の平凸レンズ状集光素に対して当該重なっている平凸レンズ状集光素を中心として点対称位置に横ずれして放射状に内側へ向かってずれていて、かつ、重なっている画素より外側の他の画素ほどずれる幅が大きくなるように前記平凸レンズ状集光素層と前記画素層とが配置されており、変形して拡大された画素の虚像が前記重なっている画素を中心として前記画素層の下方に現出することを特徴とする虚像現出装飾体。

【請求項 20】

平凸レンズ状集光素層はスクリーン印刷により 10 線数 70 を満足する紗体を形成する紗線によってできた升目を単位として透明基板の一方の面に平凸レンズ状集光素が印刷されてなり、画素層は平凸レンズ状集光素層の平凸レンズ状集光素の列と平行な画素の列を基準として  $0.001^\circ$  傾斜角  $1^\circ$  を満足する傾斜パターンで透明基板の他方の面に画素が形成されてなる請求項 19 記載の虚像現出装飾体。

【請求項 21】

平凸レンズ状集光素層はスクリーン印刷により 10 線数 70 を満足する紗体を形成する紗線によってできた升目を単位として透明基板の一方の面に平凸レンズ状集光素が印刷されてなり、画素層は平凸レンズ状集光素層の平凸レンズ状集光素の列と平行な画素の列を基準として  $0.001^\circ$  傾斜角  $1^\circ$  を満足する傾斜パターンで透明フィルムに画素が形成されてなる請求項 19 記載の虚像現出装飾体。

【請求項 22】

画素層における画素が形状を異にする複数種類からなり、各画素を同一パターンで多数縦横に整列させて変形して拡大された各画素の虚像が重なった状態で現出する請求項 19 乃至 21 のいずれかに記載の虚像現出装飾体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

即ち、請求項 1 に係る発明は、同一形状・同一大きさの平凸レンズ状集光素を多数縦横に整列させて形成してなる平凸レンズ状集光素層と該平凸レンズ状集光素層の下に積層された透明基板層と該透明基板層の下に積層された同一形状・同一大きさの画素を多数縦横に整列させて形成してなる画素層とからなり、前記平凸レンズ状集光素層は 10 線数 70 を満足する紗体を形成する紗線によってできた升目を単位として平凸レンズ状集光素が形成されており、前記画素層は前記紗体の線数未満の近い線数からなる紗体を形成する紗線によってできる升目を単位として該升目のピッチと同一ピッチで画素が形成されており、前記画素の形状と同一形状の拡大された虚像が前記平凸レンズ状集光素層の上方に現出する虚像現出装飾体である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

また、請求項 2 に係る発明は、同一形状・同一大きさの平凸レンズ状集光素を多数縦横に整列させて形成してなる平凸レンズ状集光素層と該平凸レンズ状集光素層の下に積層された透明基板層と該透明基板層の下に積層された同一形状・同一大きさの画素を多数縦横に整列させて形成してなる画素層とからなり、前記各平凸レンズ状集光素と前記各画素とは少なくとも一組が上下において完全に重なっていると共に該重なっている画素と等距離にある他の画素が該他の画素と対応する平凸レンズ状集光素に対して当該重なっている画素を中心として放射状に外側へ向かって同じ幅でずれていて、かつ、当該中心となる画素より外側の画素ほどずれる幅が大きくなるように前記平凸レンズ状集光素層と前記画素層とが配置されており、前記画素の形状と同一形状の拡大された虚像が前記重なっている画素を中心として前記平凸レンズ状集光素層の上方に現出する虚像現出装飾体である。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

また、請求項 3 に係る発明は、平凸レンズ状集光素層はスクリーン印刷により 10 線数 70 を満足する紗体を形成する紗線によってできた升目を単位として透明基板の一方の面に平凸レンズ状集光素が印刷されてなり、画素層は前記紗体の線数未満の近い線数からなる紗体を形成する紗線によってできる升目を単位として該升目のピッチと同一ピッチで透明基板の他方の面に画素が形成されてなる請求項 2 記載の虚像現出装飾体である。また、請求項 4 に係る発明は、平凸レンズ状集光素層はスクリーン印刷により 10 線数 70 を満足する紗体を形成する紗線によってできた升目を単位として透明基板の一方の面に平凸レンズ状集光素が印刷されてなり、画素層は前記紗体の線数未満の近い線数からなる紗体を形成する紗線によってできる升目を単位として該升目のピッチと同一ピッチで透明フィルムに画素が形成されてなる請求項 2 記載の虚像現出装飾体である。

## 【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

また、請求項 5 に係る発明は、画素層の下に更に同一形状・同一大きさの画素を多数縦横に整列させて形成してなる他の画素層が少なくとも一層積層されていると共に、当該他の画素層の各画素と各平凸レンズ状集光素とは少なくとも一組が上下において完全に重なっていると共に該重なっている画素と等距離にある他の画素が該他の画素と対応する平凸レンズ状集光素に対して当該重なっている画素を中心として放射状に外側へ向かって同じ幅でずれていて、かつ、当該中心となる画素より外側の画素ほどずれる幅が大きくなるように平凸レンズ状集光素層と他の画素層とが配置されてなり、各画素層に形成された画素の平凸レンズ状集光素に対するずれる幅が該各画素層において異なっており、各画素層の画素の形状と同一形状の拡大された各虚像が異なる高さ位置に現出する請求項 1 及至 4 のいずれかに記載の虚像現出装飾体である。

## 【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

また、請求項 6 に係る発明は、画素層の下に更に同一形状・同一大きさの画素を多数縦横に整列させて形成してなる他の画素層が少なくとも一層積層されていると共に、当該他の画素層の各画素と各平凸レンズ状集光素とは少なくとも一組が上下において完全に重なっていると共に該重なっている画素と等距離にある他の画素が該他の画素と対応する平凸レンズ状集光素に対して当該重なっている画素を中心として放射状に内側へ向かって同じ幅でずれていて、かつ、当該中心となる画素より外側の画素ほどずれる幅が大きくなるように平凸レンズ状集光素層と他の画素層とが配置されてなり、他の画素層が二層以上積層されている場合には各他の画素層に形成された画素の平凸レンズ状集光素に対するずれる幅が該各他の画素層において異なっており、他の画素層の画素の形状と同一形状の拡大された虚像が前記重なっている画素を中心として他の画素層の下方に現出する請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載の虚像現出装飾体である。

## 【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

また、請求項 7 に係る発明は、一画素層における画素が形状を異にする複数種類からなり、各画素を同一パターンで多数縦横に整列させて該各画素の形状と同一形状の拡大された虚像が重なった状態で現出する請求項 1 乃至 6 のいずれかに記載の虚像現出装飾体である。

## 【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

即ち、請求項 8 に係る発明は、同一形状・同一大きさの平凸レンズ状集光素を多数縦横に

整列させて形成してなる平凸レンズ状集光素層と該平凸レンズ状集光素層の下に積層された透明基板層と該透明基板層の下に積層された同一形状・同一大きさの画素を多数縦横に整列させて形成してなる画素層とからなり、前記平凸レンズ状集光素層は10線数70を満足する紗体を形成する紗線によってできた升目を単位として平凸レンズ状集光素が形成されており、前記画素層は前記紗体の線数を越える近い線数からなる紗体を形成する紗線によってできる升目を単位として該升目のピッチと同一ピッチで画素が形成されており、前記画素の形状と同一形状の拡大された虚像が前記画素層の下方に現出する虚像現出装飾体である。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

また、請求項9に係る発明は、同一形状・同一大きさの平凸レンズ状集光素を多数縦横に整列させて形成してなる平凸レンズ状集光素層と該平凸レンズ状集光素層の下に積層された透明基板層と該透明基板層の下に積層された同一形状・同一大きさの画素を多数縦横に整列させて形成してなる画素層とからなり、前記各平凸レンズ状集光素と前記各画素とは少なくとも一組が上下において完全に重なっていると共に該重なった画素と等距離にある他の画素が該他の画素と対応する平凸レンズ状集光素に対して当該重なっている画素を中心として放射状に内側へ向かって同じ幅でずれていて、かつ、当該中心となる画素より外側の画素ほどずれる幅が大きくなるように前記平凸レンズ状集光素層と前記画素層とが配置されており、前記画素の形状と同一形状の拡大された虚像が前記重なった画素を中心として前記画素層の下方に現出する虚像現出装飾体である。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

また、請求項10に係る発明は、平凸レンズ状集光素層はスクリーン印刷により10線数70を満足する紗体を形成する紗線によってできた升目を単位として透明基板の一方の面に平凸レンズ状集光素が印刷されてなり、画素層は前記紗体の線数を越える近い線数からなる紗体を形成する紗線によってできる升目を単位として該升目のピッチと同一ピッチで透明基板の他方の面に画素が形成されてなる請求項9記載の虚像現出装飾体である。

また、請求項11に係る発明は、平凸レンズ状集光素層はスクリーン印刷により10線数70を満足する紗体を形成する紗線によってできた升目を単位として透明基板の一方の面に平凸レンズ状集光素が印刷されてなり、画素層は前記紗体の線数を越える近い線数からなる紗体を形成する紗線によってできる升目を単位として該升目のピッチと同一ピッチで透明フィルムに画素が形成されてなる請求項9記載の虚像現出装飾体である。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

また、請求項12に係る発明は、画素層の下に更に同一形状・同一大きさの画素を多数縦横に整列させて形成してなる他の画素層が少なくとも一層積層されていると共に、当該他の画素層の各画素と各平凸レンズ状集光素とは少なくとも一組が上下において完全に重なっていると共に該重なっている画素と等距離にある他の画素が該他の画素と対応する平凸

レンズ状集光素に対して当該重なっている画素を中心として放射状に内側へ向かって同じ幅でずれていて、かつ、当該中心となる画素より外側の画素ほどずれる幅が大きくなるように平凸レンズ状集光素層と他の画素層とが配置されてなり、各画素層に形成された画素の平凸レンズ状集光素に対するずれる幅が該各画素層において異なっており、各画素層の画素の形状と同一形状の拡大された各虚像が異なる深さ位置に現出する請求項 8 乃至 1 1 のいずれかに記載の虚像現出装飾体である。

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 6】

また、請求項 1 3 に係る発明は、画素層の下に更に同一形状・同一大きさの画素を多数縦横に整列させて形成してなる他の画素層が少なくとも一層積層されていると共に、当該他の画素層の各画素と各平凸レンズ状集光素とは少なくとも一組が上下において完全に重なっていると共に該重なっている画素と等距離にある他の画素が該他の画素と対応する平凸レンズ状集光素に対して当該重なっている画素を中心として放射状に外側へ向かって同じ幅でずれていて、かつ、当該中心となる画素より外側の画素ほどずれる幅が大きくなるように平凸レンズ状集光素層と他の画素層とが配置されてなり、他の画素層が二層以上積層されている場合には各他の画素層に形成された画素の平凸レンズ状集光素に対するずれる幅が該各他の画素層において異なっており、他の画素層の画素の形状と同一形状の拡大された虚像が前記重なっている画素を中心として平凸レンズ状集光素層の上方に現出する請求項 8 乃至 1 1 のいずれかに記載の虚像現出装飾体である。

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 7】

また、請求項 1 4 に係る発明は、一画素層における画素が形状を異にする複数種類からなり、各画素を同一パターンで多数縦横に整列させて該各画素の形状と同一形状の拡大された虚像が重なった状態で現出する請求項 8 乃至 1 3 のいずれかに記載の虚像現出装飾体である。

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 8】

また、請求項 1 5 に係る発明は、同一形状・同一大きさの平凸レンズ状集光素を多数縦横に整列させて形成してなる平凸レンズ状集光素層と該平凸レンズ状集光素層の下に積層された透明基板層と該透明基板層の下に積層された同一形状・同一大きさの画素を該画素の列が順に同じ傾斜角を累積する傾斜パターンにて同一方向に並んで傾斜するように多数縦横に整列させて形成してなる画素層とからなり、前記各平凸レンズ状集光素と前記各画素とは少なくとも一組が上下において完全に重なっていると共に該重なっている平凸レンズ状集光素を中心とする対角線上の等距離にある他の平凸レンズ状集光素に対応する位置にある他の画素が該他の平凸レンズ状集光素に対して当該重なっている平凸レンズ状集光素を中心として点対称位置に横ずれして放射状に外側へ向かってずれていて、かつ、重なっている画素より外側の他の画素ほどずれる幅が大きくなるように前記平凸レンズ状集光素層と前記画素層とが配置されており、変形して拡大された画素の虚像が前記重なっている

画素を中心として前記平凸レンズ状集光素層の上方に現出する虚像現出装飾体である。

【手続補正 15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0029】

また、請求項 16 に係る発明は、平凸レンズ状集光素層はスクリーン印刷により 10 線数 70 を満足する紗体を形成する紗線によってできた升目を単位として透明基板の一方の面に平凸レンズ状集光素が印刷されてなり、画素層は平凸レンズ状集光素層の平凸レンズ状集光素の列と平行な画素の列を基準として 0.001° 傾斜角 1° を満足する傾斜パターンで透明基板の他方の面に画素が形成されてなる請求項 15 記載の虚像現出装飾体である。

【手続補正 16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

また、請求項 17 に係る発明は、平凸レンズ状集光素層はスクリーン印刷により 10 線数 70 を満足する紗体を形成する紗線によってできた升目を単位として透明基板の一方の面に平凸レンズ状集光素が印刷されてなり、画素層は平凸レンズ状集光素層の平凸レンズ状集光素の列と平行な画素の列を基準として 0.001° 傾斜角 1° を満足する傾斜パターンで透明フィルムに画素が形成されてなる請求項 15 記載の虚像現出装飾体である。

【手続補正 17】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0031】

また、請求項 18 に係る発明は、画素層における画素が形状を異にする複数種類からなり、各画素を同一パターンで多数縦横に整列させて変形して拡大された各画素の虚像が重なった状態で現出する請求項 15 乃至 17 のいずれかに記載の虚像現出装飾体である。

【手続補正 18】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

また、請求項 19 に係る発明は、同一形状・同一大きさの平凸レンズ状集光素を多数縦横に整列させて形成してなる平凸レンズ状集光素層と該平凸レンズ状集光素層の下に積層された透明基板層と該透明基板層の下に積層された同一形状・同一大きさの画素を該画素の列が順に同じ傾斜角を累積する傾斜パターンにて同一方向に並んで傾斜するように多数縦横に整列させて形成してなる画素層とからなり、前記各平凸レンズ状集光素と前記各画素とは少なくとも一組が上下において完全に重なっていると共に該重なっている平凸レンズ状集光素を中心とする対角線上の等距離にある他の平凸レンズ状集光素に対応する位置にある他の画素が該他の平凸レンズ状集光素に対して当該重なっている平凸レンズ状集光素を中心として点対称位置に横ずれして放射状に内側へ向かってずれていて、かつ、重なっている画素より外側の他の画素ほどずれる幅が大きくなるように前記平凸レンズ状集光素

層と前記画素層とが配置されており、変形して拡大された画素の虚像が前記重なっている画素を中心として前記画素層の下方に現出する虚像現出装飾体である。

【手続補正 19】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0033

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0033】

また、請求項 20 に係る発明は、平凸レンズ状集光素層はスクリーン印刷により 10 線数 70 を満足する紗体を形成する紗線によってできた升目を単位として透明基板の一方の面に平凸レンズ状集光素が印刷されてなり、画素層は平凸レンズ状集光素層の平凸レンズ状集光素の列と平行な画素の列を基準として  $0.001^\circ$  傾斜角  $1^\circ$  を満足する傾斜パターンで透明基板の他方の面に画素が形成されてなる請求項 19 記載の虚像現出装飾体である。

【手続補正 20】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0034

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0034】

また、請求項 21 に係る発明は、平凸レンズ状集光素層はスクリーン印刷により 10 線数 70 を満足する紗体を形成する紗線によってできた升目を単位として透明基板の一方の面に平凸レンズ状集光素が印刷されてなり、画素層は平凸レンズ状集光素層の平凸レンズ状集光素の列と平行な画素の列を基準として  $0.001^\circ$  傾斜角  $1^\circ$  を満足する傾斜パターンで透明フィルムに画素が形成されてなる請求項 19 記載の虚像現出装飾体である。

【手続補正 21】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0035】

また、請求項 22 に係る発明は、画素層における画素が形状を異にする複数種類からなり、各画素を同一パターンで多数縦横に整列させて変形して拡大された各画素の虚像が重なった状態で現出する請求項 19 乃至 21 のいずれかに記載の虚像現出装飾体である。